

東京大学大学院情報理工学系研究科
知的情報処理英語プログラム

別表

1. 授業科目

科目種別	授業科目名等	単位数	履修方法	備考
A(共通)	工学系・情報理工学系研究科日本語教育部会による講義※	1～10		留学生のみ2単位以上必修 (日本人は国際交流実績ポイント)
	研究倫理	0.5	必修	各自の専攻・課程に対応するもの
	コンピュータ科学修士輪講Ⅰ・Ⅱ コンピュータ科学修士特別研究Ⅰ・Ⅱ 実践英語対話表現演習 又は 数理情報学輪講Ⅰ・Ⅱ 数理情報学修士特別研究Ⅰ・Ⅱ 又は システム情報学輪講Ⅰ・Ⅱ システム情報学修士特別研究Ⅰ・Ⅱ 又は 電子情報学修士輪講Ⅰ・Ⅱ 電子情報学修士特別研究Ⅰ・Ⅱ 又は 知能機械情報学修士輪講Ⅰ・Ⅱ 知能機械情報学修士特別研究Ⅰ・Ⅱ 又は 創造情報学修士輪講 創造情報学修士演習 創造情報学プロジェクト実践修士研究 実践英語演習 又は コンピュータ科学博士輪講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ コンピュータ科学博士特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 又は 数理情報学博士輪講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 数理情報学博士特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 又は システム情報学博士特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 又は 電子情報学博士特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 又は 知能機械情報学博士特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 又は 創造情報学博士輪講 創造情報学プロジェクト実践博士研究 実践英語特別演習	各1 各6 1 各2 各6 各2 各6 各2 各5 各2 各6 2 2 10 1 各2 各4 各1 各4 各4 各4 各4 2 12 1		
B(基盤)	論文構成法 脳科学特論Ⅰ 脳科学特論Ⅱ 知能機械情報学特別講義Ⅱ 知能機械情報学特別演習	2 2 2 2 2	選択必修 (修士)	修士はB～Dから12単位以上

	情報科学研究補助技法	2		
C(コア)	先端アルゴリズム論	2	選択必修	修士がCから6 単位以上、博 士がC~Dか ら2単位以上
	AI ソフトウェアの信頼性保証特論	2		
	量子計算論	2		
	近似・オンラインアルゴリズムとその応用	2		
	ネットワーク最適化	2		
	カスタムコンピューティング特論	2		
	リモートセンシング画像解析	2		
	コンピュータ科学特別講義III (Efficient Search Methods in Artificial Intelligence)	2		
	離散情報論	2		
	ニューロインテリジェンス入門	2		
	逆問題特論	2		
	並列分散プログラミング	2		
	インターネット工学	2		
	映像メディア学	2		
	応用コンピュータ・グラフィックス論	2		
	マルチモーダル知能構成論	2		
	情報理工学英語特別講義IV (Probabilistic Generative Models Applied to Musical Audio Data)	2		
情報理工学英語特別講義VI (Advanced Data Structures)	2			
D(発展)	計算科学アライアンス特別講義 I	2	選択必修 (修士)	修士はB~D から合計12単 位以上
	計算科学アライアンス特別講義 II	2		
	情報理工学英語特別講義 II	2		
	(オンライン国際研究インターンシップ)			

なお、B、C、D の科目は情報理工学系研究科の講義リストにあわせて更新されるので、ホームページで常に最新の情報を確認すること。

以上表の講義を使用して、2024年度に学生が取得できる単位の合計を計算する。他年度で単位認定される講義の情報については、それぞれの年に公開された表を参照のこと。

* 2024年度開講の日本語教室講義リスト:

<https://www.ilcse.t.u-tokyo.ac.jp/ja/programs/about/overview/>

2. 国際交流実績ポイント

留学生の日本語講義に代わり、日本人学生は国際交流実績ポイントが必要である。

・海外派遣・学会参加等

海外滞在宿泊日数(機中泊を含まない)1泊につき1ポイント。ただし用務のない日(前後泊や、研究室滞在での土日など)はポイントに含まない。

E-ticket のコピー、および、用務内容が分かる書類(学会ウェブページ、訪問先からのメール、等)を電子メールで情報理工学系研究科国際交流室に送付すること。

海外で行われた国際会議での口頭発表は2ポイントを追加する。学会プログラムを添付のこと。ただし、ポスター発表や展示は含まない。

・研究科主催の留学生交流行事参加

参加1回につき1ポイント。

行事参加の当日、所定の用紙を用いて、情報理工学国際センター教員または情報理工学系研究科国際交流室事務員からサインを得た上で、情報理工学系研究科国際交流室に提出すること。